

「お豆腐狂言」で人気の茂山千五郎家による狂言会を、昨年に引き続き今年も開催します。ユーモアに富んだ喜劇・狂言を前説付きで上演するので、狂言を初めて観る方でも心から楽しんでいただけます。今年は和泉流 小笠原由祠、小笠原弘晃との東西狂言コラボを開催します!文化創造館で楽しむ、狂言の「和らい」にご期待ください。

狂言の流派は二つ

狂言には「和泉流」と「大蔵流」二つの流派が存在します。

それぞれの流派の中に家単位の活動があり、狂言の公演は基本的に家単位で行われます。他家との共演は活発ですが、異なる流派との共演はわりに珍しく、今回の企画はかつての「東大阪東西狂言会」の流れを汲むものです。

和泉流 萬狂言とは?

加賀前田藩お抱えの300年の歴史と伝統を持つ狂言の名家 野村万蔵家を母体とし、未来への継承と発展のために、8代目当主5世野村万之丞(故人)が万蔵家特有の様式を表す「萬(よろず)狂言」と命名し活動しています。

2005年当主となった9世野村万蔵を筆頭に、その父である萬(人間国宝、芸術院会員)ほか一門により、北陸、関西、九州に拠点を置いて全国で活動しています。日本国内での公演はもとより毎年海外でも公演やワークショップを行ない、その伝承と普及・発展に努めています。

大蔵流 お豆腐狂言とは?

茂山千五郎家は、江戸初期から約400年にわたり、京都を中心に息づいてきた大蔵流狂言師の家です。茂山千五郎家の狂言は、「お豆腐狂言」と称されます。その由来は、当時は一部の特別な階層の人々だけのものであった狂言を、地蔵盆・結婚式・お祝いの会など、色々な所に出向いて演じ、仲間内から「お豆腐のような奴だ」と評されたことによります。それに対して二世千作は「お豆腐で結構。それ自体高価でも上等でもないが、味つけによって高級な味にもなれば、庶民の味にもなる。お豆腐のようにどんな所でも喜んでいただける狂言を演じればよい。より美味しいお豆腐になることに努力すればよい。」と、悪口を逆手に取りました。それ以来、茂山千五郎家では、いつの世も広く愛される、飽きのこない、そして味わい深い「お豆腐狂言」を広めていきたいと活動を続けています。

番組

お話 網谷正美

「ふたりだいみょう
二人大名」

大名甲 茂山千五郎

大名乙 島田洋海

道通り 茂山茂

(後見 井口竜也)

〈休憩〉

「にくじゅうはち
三九十八」

男 小笠原由祠

女 小笠原弘晃

(後見 泉慎也)

「かぎゅう
蝸牛」

山伏 茂山宗彦

主人 網谷正美

太郎冠者 茂山千之丞

(後見 井口竜也)

付祝言

※曲目・出演者は都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。

この事業は、「東大阪市第3次文化政策ビジョン：①文化芸術に親しむ環境づくり（東大阪市文化振興条例第8条）」に基づき実施しています。



アクセス

近鉄奈良線 八戸ノ里駅 北約200m(徒歩約5分)
※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ・託児サービス申し込み

〒577-0034 東大阪市御厨南二丁目3番4号
TEL: 06-4307-5772 (受付時間: 9時~20時)
休館日: 第2火曜日

